



四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

那賀高校への森林環境教育を行いました

昨年4月、県立那賀高校に設置された「森林クリエイ科」(20名)への2回目の森林環境教育を、昨年12月1日に行いました。当日は「森林の多面的機能について」をテーマに、森林のもつ水源かん養機能、土砂崩壊防止機能など、私たちの生活や産業に深く関係している様々な機能について、具体的な数値等を示しながら、分かりやすく説明しました。また、講義の途中では、実験器具を用いて、森林、草地、裸地で水分の浸透(吸収)量、速度が大きく異なることについて学習しました。

徳島森林管理署では、現在の1年生が卒業するまでの3年間、全9回の森林環境教育を行うこととしています。



真剣に聴く生徒



屋外での実験の様子



署長が講義しました



森林と荒地の水質の比較

今後の民国連携について協議しました

地域の森林・林業を再生していくためには、**国有林と民有林が連携**し、計画的に森林施業等を進めていくことが重要です。徳島森林管理署では昨年4月、徳島県、三好市、事業体及び徳島署から構成される「**ケーススタディ会議**」を設置し、三好地区における民国連携の実現に向けた調整や現地検討会などに取り組んできました。昨年12月6日には、これまでの会議での検討等を踏まえ、今後5か年において、協調販売・施業、林道等の相互利用などの民国連携が具体的に図れるかについて、5か年間の作業種、箇所、時期などにより協議・調整しました。

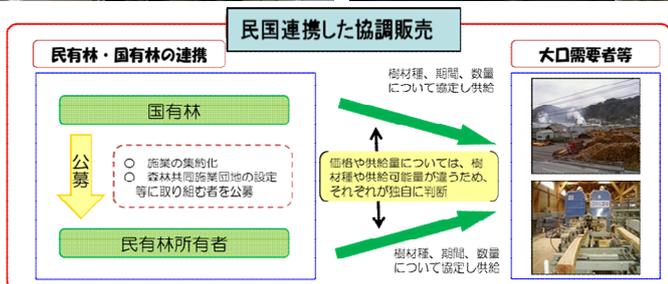
徳島森林管理署では、民国連携の実現に向けた取組を、今後も強化していきます。



ケーススタディ会議の様子



図上で民国連携箇所を検討



民国連携の取組を全国に発信しました

昨年12月2日、農林水産省の7階講堂で開催された「平成28年度 林業普及指導員全国シンポジウム」において、「地域の課題解決に向けた民有林との連携」と題して発表しました。発表後、審査員と会場から「今後、市町村職員を対象にした研修(現地検討会)はどのように取組むのか」、「民有林からは、どのような情報が民国連携を行う上で必要なのか」、「高校への取組は？」など質問がありました。徳島森林管理署では、今回の発表、審査員等からの質問を踏まえ、確実に民国連携した取組が実現されるよう関係機関・団体との調整、意見交換などに取り組んでいきます。



全国シンポの様子



徳島署からの発表



審査員からの質問に答える



徳島県・津司主任の発表

本年も よろしくお願いたします



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

